

メセナ群馬



目次

表紙絵「パーフェクト・ブルー」 渡辺香奈

目次・表紙の言葉	1
詩「朝に」 あさと・ゆい	2
近況 小野田賢三	3
写真「馬場川の流れ」	5
俳句「青蛙」 蟻川玄秋	6
富岡製糸場・西置繭所多目的ホール	7
理事会・総会報告	9
令和3年度・新任役員あいさつ	11
「論語と算盤」 染谷 滋	13
「小林真二の再評価に向けて」 染谷 滋	14
令和2年度後援事業調査訪問報告	15
催し物案内	16
公益社団法人企業メセナ群馬名簿	17
入会案内	18

表紙の言葉

「Perfect Blue パーフェクトブルー」

渡辺香奈

2014年、文化庁新進芸術家海外派遣から帰国。2年間滞在したスペインでは、ビールの飲み方から、死生観に至るまで違うものでした。例えば、朝の挨拶「おはようございます」、だれかの家を訪ねるときの「おじゃまします」、その言葉の成り立ちすら、スペイン語で説明するのは難しい。日本に帰国した当初は、今まで無意識に溶け込んでいたものが見えるようになり、自国ながら異文化のようでした。それが今回のテーマです。

日本で過ごす、日本文化が無意識に溶け込んで見えなくなる。同じようにスペインにいれば、いつの間にかスペイン文化に染まっていく。この感覚を絵画で表現できないかと考え、色彩をパーフェクトに統一した、色の世界にたどり着いた。

例えば、赤い色の世界では、赤は無意識に溶け込んで見えない。赤以外の、青い色に憧れを抱く。

同じように、青い色の世界では青は見えない。赤い色が美しく見え、異色は畏怖にもなる。

しかし一番大切に思っているものは、日常の同系色に彩られ、だれの目にも見えにくい。見えてしまったときから、当たり前ではないたぐいの、非日常が始まる。そんな気がします。

—2018年日動画廊での個展カタログより転載

渡辺香奈（社団法人二紀会準会員・群馬県美術会会員・スペインブラド国立美術館模写許可者）

（令和2年度企業メセナ群馬芸術文化奨励賞受賞）



モミの新芽

朝に

あさと ゆい

雨上がりの朝 あした

あたらしい季節の始まりをつげる

かすかな鐘の音を聞いた

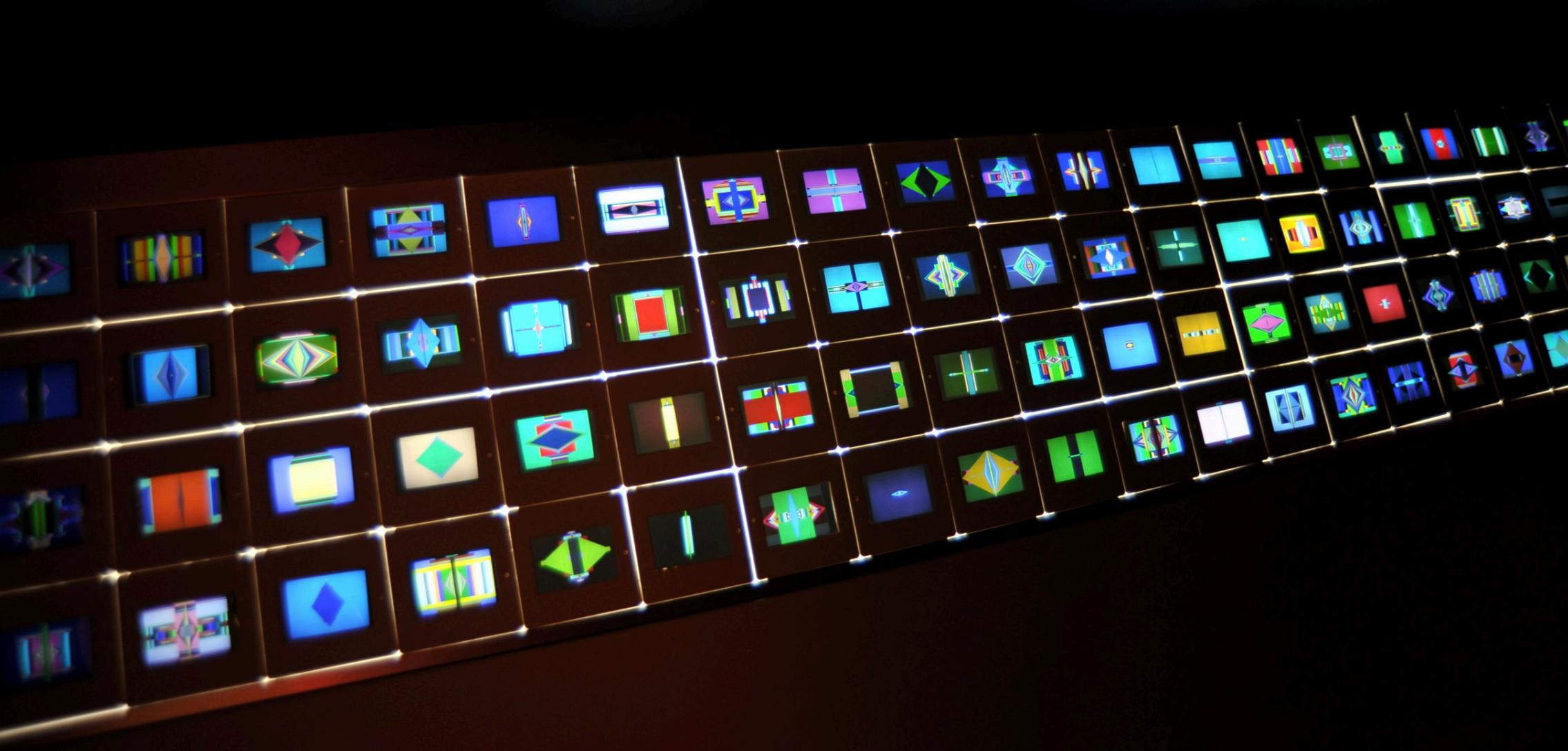
ひとり 森の中で

エメラルド色の風が

静かに梢をわたっていく

木々の枝からしたたる雫はやさしく

私の心を ひらけゆく空へと誘う いざな



小野田賢三 おのだけんぞう

1961年前橋生まれ、在住
1980年大阪芸術大学芸術計画学科音響学専攻中退
1985年日本電信電話株式会社横浜支社設備建設センター(NTT)勤務
2003年アーティスト活動を開始

活動歴

[個展]
2010 "トワイライト" ヘーベル121 (パーゼル、スイス)
2014 "窓 壁 囁き" The Window 41(パリ、フランス)
2015 "トレシズ"クンストラーハウス・フリーゼ(ハンブルグ、ドイツ)
2020 "ここ、そこ、そこかしこ" 十方藝術中心(重慶、中国)

[グループ展]
2005 "カラフル" 群馬県立近代美術館 (高崎、群馬)
2008 "PARKHOUSE" ノイトライン州立美術館 (デュッセルドルフ、ドイツ)
2008 "Aslijnen op kopvlakken" デブレツ(ティルブルグ、オランダ)
2009 "月光のアンフラマンズ" DIC 川村記念美術館 (佐倉、千葉)
2013 "カゼイロノハナ" アーツ前橋 (前橋、群馬)
2015 "越後妻有アートトリエンナーレ(十日町、新潟)
2016 "JAPAN IN PARAZZO" リースタル美術館(パーゼル、スイス)
2017 "第一回重慶国際現場芸術祭"(重慶、中国)
2017 "カミナリとアート"群馬県立館林美術館(館林、群馬)
2020 "ギフト" 四川美術大学美術館(重慶、中国)

[ライブパフォーマンス]
2005 "白鷺庵" 群馬県立近代美術館 (高崎、群馬)
2005 "WG/3ZI/K/BAR" クンストフェラインマーカステン (デュッセルドルフ、ドイツ)
2005 "オープンスタジオ" ACAVA スタジオ・プリジットライリー(ロンドン、イギリス)
2007 "Edge of voices" コンサート ボルドー美術大学(ボルドー、フランス)
2008 "ONE ON ONE" コンサート スリーパーギャラリー (エジンバラ、スコットランド)
2009 "パリ国際詩人ビエンナーレ" BIPVAL Festival (パリ、フランス)
2014 "Farbe als Experiment" ヴッパタル大学 (ヴッパタル、ドイツ)
2014 "スマートイルミネーション2014横浜" (横浜、神奈川)
2017 "ザ オーバードライブショー" 高崎音楽センター(高崎、群馬)
2020 "ドレス リハーサル" まつもと市民芸術館(松本、長野)

Title : parade on film, Kenzo Onoda works at elevator cargo, Shiroiya-hotel

前橋が素敵な街になってきました。
少しでも”アート”がお役に立てるなら、これほど嬉しいことはありません。

白井屋ホテル





前橋・馬場川（ばばっかわ）の流れ

青蛙

蟻川 玄秋

(七郎次)

青田風自転車の子が五六人

蛇動かず吾も動かぬ畑の中

鳩鴉夏うぐいすが里山に

満開のさつきよ空の青きこと

真昼間の静けさにくる夏の蝶

蝸牛締め切りの日を忘じおり

コロナ禍やどこか明るき青蛙

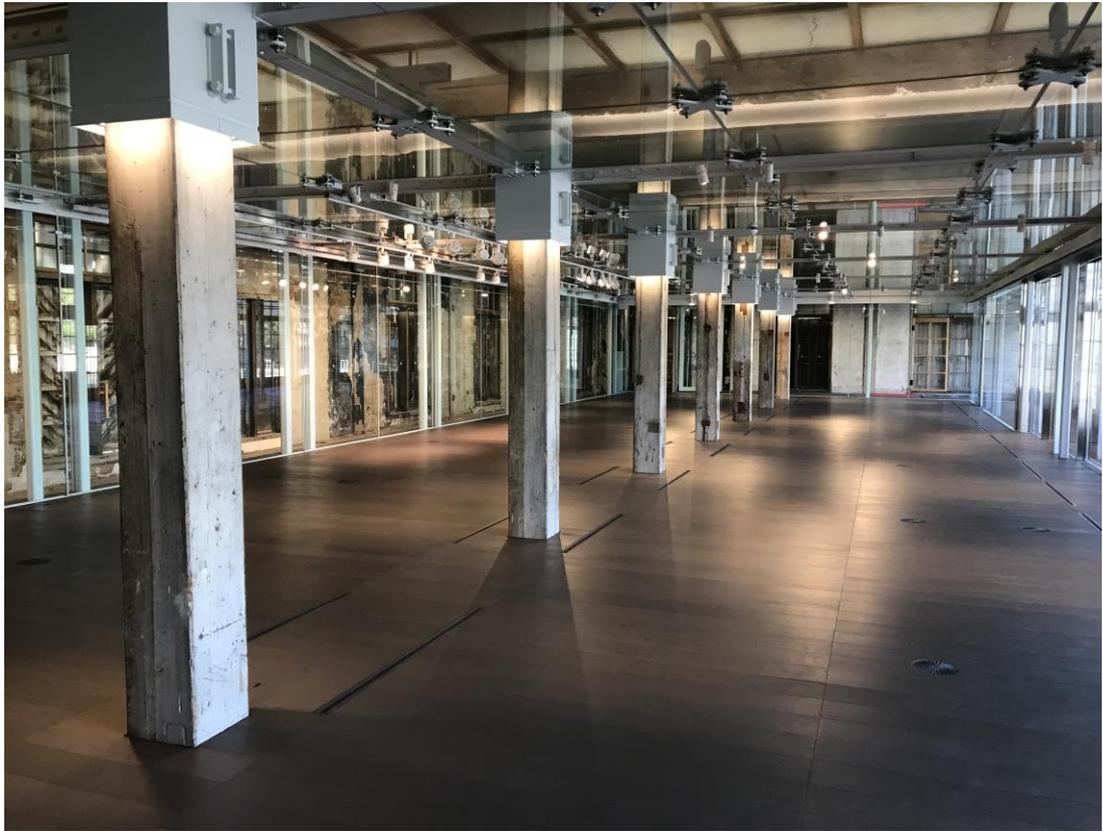
紫陽花やけふの天気に歩を合はす

喜雨煙る土の白ひを近くせり

カーネーション心寄せ合ふ赤と白

蟻川玄秋

中之条諏訪俳句会「青藍」創設
句集「二月畑」「柿紅葉」上梓
令和2年群馬県総合表彰
現群馬県俳句作家協会会長



世界遺産

富岡製糸場・西置繭所多目的ホール



昨年、富岡製糸場の西置繭所が改装され、一般公開されている。1階のスペースは、主に絹遺産に関する資料が展示され、2階は、一部、当時の繭の保管の様子が再現されている。1階は資料展示の他に、コンサートや結婚式、展示会などの催し物が出来る多目的ホールが用意されている。ハウスインハウスというのか、歴史ある建物を内部から鉄骨と分厚い硝子で支えるように構築されている。硝子を通して見る壁は、長い時間が作り出した様々な表情を湛え、それ自体が一つの作品として成立しているかのようである。3月には、染色作家中野信子氏と書家の真下京子氏、同じく書家の杉山勇人氏による作品展が開かれた。今後の活用が期待される。

企業メセナ群馬後援の展覧会

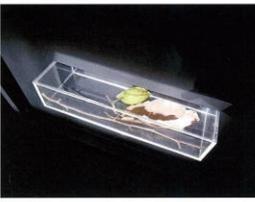
リレー展 「富岡製糸場西置繭所 における場と表現」

I 期：河内世紀一
繭と糸のアルケオロジー
—〈紡ぐ〉記憶から
2021・6・19(土)
～6・30(水)
9:00～17:00
(最終入場 16:30)

II 期：村上雅紀 上州文化ラボ
表現と活動の軌跡
2021・7・10(土)
～7・18(日)
最終日は 14:00 閉場
9:00～17:00
(最終入場 16:30)

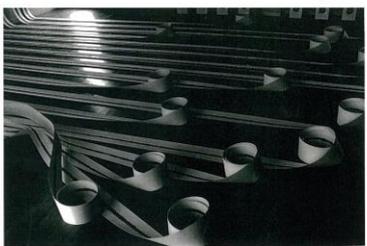
里山の天童 河内世紀一

天童(アマモ)は、クヌギ・ナラなどの木の小枝に糸を絡ませてから繭を編む。クヌギの葉などはややくたくたくと落ちて落ちないから、実と葉がついたままで見つかることがある。家蚕が朽ちこまれるまでは、日本各地で天童糸(てんどうす)が作られていたようだ。自然相手の希少な営み。――(虫居でも「てんどう」作りが継承されている)

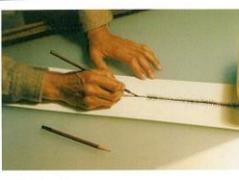


リレー展
富岡製糸場西置繭所
における場と表現

改装なった西置繭所は、それ自体芸術表現として完結しているといえる。鉄骨と硝子に支えられて、百年の記憶の壁が甦った。そこに作品を展示することは、作家にとって一つの挑戦である。



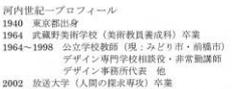
I 期：河内世紀一
繭と糸のアルケオロジー
—〈紡ぐ〉記憶から
2021・6・19(土)～6・30(水)
9:00～17:00
(最終入場 16:30)



河内世紀一プロフィール
1940 東京都出身
1964 武蔵野美術学校(美術教員養成科)卒業
1964～1998 公立学校教師(現:みどり市・前橋市)
デザイン専門学校相談役・非常勤講師
デザイン専攻科代表 他
2002 筑波大学(人間の探求専攻)卒業
2004 筑波大学大学院芸術研究科(総合造形分野)修了
個展・グループ展・コンクール出品等多数
著書『マンガと道徳の風景―前田常作の(他)日記をめぐる』新風舎刊、2007年9月15日
『ジャクソン・ポロック―前衛への軌跡―』私家版 DiPSA刊、2010年9月20日



■主催・企画：西井重良(リレー実行委員会)
〒371-0837 群馬県前橋市菟田町137-7 080-6684-5676
■協力：上州文化ラボ
■後援：公益社団法人企業メセナ群馬
□富岡製糸場 〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1 ☎0274-64-0555
※入場料 大人1000円 大学・高校生250円
小・中学生150円



河内世紀一プロフィール
1981 前橋市生まれ。東京造形大学で彫刻を学ぶ。
2011年より協賛組合前橋食品市場の社員として伊豆銀行担保倉庫の管理・運営を行う。
また、当倉庫を拠点に美術館及び地域の歴史文化の調査・周知活動を行っている。美術館ではミラノな行為・展覧による彫刻表現の可能性を模索。2014年以降、赤・青・黄色の紙を切り重ねていく「Sculpture of papers」を制作。また、2018年より当倉庫などで実験的に展覧を始め、芸術・文化・産業分野における新たな価値創造を目的に挑戦。上州文化ラボ発足。

主な展覧会
2007 「Saves The BATTLE」AIS gallery(前橋)
2015 「Sculpture of papers」ya'gins(前橋)
2017 「ghost planning 0+描くことの展示」 前橋銀行担保倉庫(前橋)
2018 「Hidden Place 絵画に生まれ絵画に還る」 広瀬川美術館(前橋)
2020 「前衛の美術 2020―トナリノビジュフ」 出逢アーツ前橋

上州文化ラボ
伊豆銀行担保倉庫を拠点に文化事業を行う市民団体。当倉庫の保存・活用を中心に地域に発する歴史文化遺産の調査・展覧活動を行っている。当倉庫の群馬県を代表する顕在遺産であり、1945年8月5日の前橋空襲の犠牲者慰霊堂敷地とする戦災遺跡でもあることから前橋市を中心とした東本郷の調査及び開拓。また前橋空襲を語り継ぐ活動などを行っている。



往事からの歴史を刻んできた内部の壁面と鉄骨に支えられたガラス面が、光の反射によって重ね合わされ、複雑な画像を展開する。作家は、自分の作品を配置することを通して、永遠の時間と一体化することを夢想し続けるのではなかろうか。



リレー展 富岡製糸場西置繭所 における場と表現

改装なった西置繭所は、それ自体芸術表現として完結しているといえる。鉄骨と硝子に支えられて、百年の記憶の壁が甦った。そこに作品を展示することは、作家にとって一つの挑戦である。

(Photo: 毛利 聡)

II 期：村上雅紀 上州文化ラボ
表現と活動の軌跡
2021・7・10(土)～7・18(日)
(最終日は 14:00 閉場)
9:00～17:00 (最終入場 16:30)



(Photo: 毛利 聡)



村上雅紀プロフィール
1981 前橋市生まれ。東京造形大学で彫刻を学ぶ。
2011年より協賛組合前橋食品市場の社員として伊豆銀行担保倉庫の管理・運営を行う。
また、当倉庫を拠点に美術館及び地域の歴史文化の調査・周知活動を行っている。美術館ではミラノな行為・展覧による彫刻表現の可能性を模索。2014年以降、赤・青・黄色の紙を切り重ねていく「Sculpture of papers」を制作。また、2018年より当倉庫などで実験的に展覧を始め、芸術・文化・産業分野における新たな価値創造を目的に挑戦。上州文化ラボ発足。

主な展覧会
2007 「Saves The BATTLE」 AIS gallery(前橋)
2015 「Sculpture of papers」 ya'gins(前橋)
2017 「ghost planning 0+描くことの展示」 前橋銀行担保倉庫(前橋)
2018 「Hidden Place 絵画に生まれ絵画に還る」 広瀬川美術館(前橋)
2020 「前衛の美術 2020―トナリノビジュフ」 出逢アーツ前橋

上州文化ラボ
伊豆銀行担保倉庫を拠点に文化事業を行う市民団体。当倉庫の保存・活用を中心に地域に発する歴史文化遺産の調査・展覧活動を行っている。当倉庫の群馬県を代表する顕在遺産であり、1945年8月5日の前橋空襲の犠牲者慰霊堂敷地とする戦災遺跡でもあることから前橋市を中心とした東本郷の調査及び開拓。また前橋空襲を語り継ぐ活動などを行っている。

■主催・企画：西井重良(リレー実行委員会)
〒371-0837 群馬県前橋市菟田町137-7 080-6684-5676
■協力：公立大学法人前橋工科大学建築学科日井研究室
NPO 法人 RAC(街・建築・文化再生集団)
協賛組合前橋食品市場
■後援：公益社団法人企業メセナ群馬
□富岡製糸場 〒370-2316 富岡市富岡1-1 ☎0274-64-0555
※入場料 大人1000円 大学・高校生250円
小・中学生150円

理事会・総会の報告

令和3年3月2日（火）に理事会を、3月23日（火）に社員総会をホテルサンダーソン会議室において開催し、令和3年度の事業計画・予算について協議し、承認されました。また、任期満了に伴う役員についても協議し、新任再任合わせて12名の体制が決まりました。

令和2年度は、コロナ禍に加えて、永らく監事を務められておりました星野義夫氏、専務理事の竹内嘉一氏が逝去され、また事務局長の相澤慎司氏が病気のため退職されるなど、想定外のことが続きましたが、新体制の下、歩み出すことが出来ました。

令和3年（2021年）度 事業計画書

1 事業実施の目的

公益社団法人企業メセナ群馬においては会員相互の連絡協議を進めるとともに、他企業、他団体、行政機関等に対しメセナ活動に関する啓蒙や情報提供を行うことによりメセナ活動に対する県民の理解を広めて群馬の芸術文化の向上と発展に寄与することを目的とする。

2 事業の概要

(1) 芸術文化に関する啓蒙と普及事業

ア：「メセナレター」を発行し、芸術文化に関する情報等を掲載する。配布は全会員に送付するほか、縣市等の行政機関や各市商工会議所、各経済団体、市町文化協会等の団体へも送付し啓蒙への協力を依頼する。さらに、芸術文化振興に関わる各種イベント開催時には、主催者の求めに応じてイベント参加者にも配布を行う。

イ：企業メセナ群馬のホームページを適宜更新し、企業メセナ群馬の活動をPRするとともに、啓蒙普及を図る。

ウ：群馬県展、県写真展、県書道展、群馬連盟展、前橋市民展、前橋児童画作品展等の公募展に「企業メセナ群馬賞」を本年も設定し、美術界及び一般県民、市民にメセナ活動についての関心と理解の深化を図る。

エ：芸術文化活動にかかわる団体及び個人が開催する事業に後援等の支援を行う。

(2) 情報収集・提供事業

ア：インターネットやメールを活用して、情報収集に努める。また、公社・企業メセナ協議会（東京）とのリンクを図り、情報提供と収集の機会を拡充する。

(3) 芸術文化奨励賞（活動支援）事業

ア：県内全域にわたって活動支援者を発掘し、原則年1回活動支援を実施する。

イ：審査委員会規定及び審査の基本方針に基づき慎重な審査を行う。

ウ：贈呈式にて「芸術文化奨励賞」及び金一封を贈呈する。

(4) 同様の機関・団体等との交流事業

ア：全国のメセナ活動の団体と資料及び情報の交換を行う。

3 2021年度の重点施策

会員の増強 事業活動の発展と会計収支の確保のため本年度の会員増強を計画し実施する。

目標：	正会員	15社	年会費額	1,800千円
	前年度	15社	年会費額	1,800千円
	(前年度比	±0社)	(増加金額	±0千円)
	賛助会員	35社・名	年会費額	700千円
	前年度	40社・名	年会費額	750千円
	(前年度比	-5社・名)	(増加金額	-50千円)

理事会・総会の報告

令和3年4月20日（火）午前10時より、令和3年度第1回理事会が、ホテルサンダーソン2階会議室において開催されました。

主な議事は、令和2年度事業報告ならびに決算報告、監事選任についてで、提案通り全会一致で承認されました。

その後、社員総会を5月25日（火）に設定しましたが、群馬県が新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置の対象となったため、急遽書面決議に切り替え、同意書を正会員に郵送し、全員の同意を頂きました。

令和2年度（2020年度）事業報告書

1 事業実施の目的

公益社団法人企業メセナ群馬の掲げる目的をもって令和2年度（2020年度）の事業を実施しました。

目的：「会員相互の連絡協議を進めるとともに他企業、他団体、行政機関等に対しメセナ活動に関する啓蒙や情報提供を行うことにより、メセナ活動に対する群馬県民の理解を広めて地域社会の芸術文化の向上と発展に寄与する」

2 事業の概要

(1) 芸術文化に関する啓蒙と普及

- ①メセナレターの発行が、下記の理由によりできませんでした。
(年度当初、前年度のまとめとしての「№65」は発行しました。)
 - ・新型コロナウイルスの流行により、諸行事が中止となったため。
 - ・運営の中心だった専務理事の急逝、事務局長の病気による退職などが重なり、引き継ぎが順当にいかなかったため。
- ②メセナレターの発送も上記の理由からできませんでした。(年度当初、「№65」は発送しました。)
- ③ホームページの更新も上記の理由からできませんでした。
- ④県展等の中止により、企業メセナ群馬賞の提供もありませんでした。
(県展書道を除く：作品展示はありませんでしたが、審査は行ったため、賞状を発行しました。)
- ⑤広瀬川美術館で開催している「企業メセナ群馬賞受賞者作品展」は、新型コロナ感染拡大防止のため、広瀬川美術館が休館となり開催できませんでした。
- ⑥芸術文化活動に関わる団体等のイベントについて後援を行いました。
 - ・第23回スカルプトゥーラ展
 - ・「赤城絵描きの小林真二展」
- ⑦他団体との情報交換、情報収集については、コロナ禍のため、近隣の市町村の美術館、ギャラリーでの展示を中心に行いました。

(2) 芸術文化活動に対する奨励賞（活動支援）

引き継ぎを機に財政の見直しを図りました。その中で、賞金額を過去一般的であった10万円に戻すようにしました。審査委員会での審議の後、理事会の承認を経て、洋画家・渡辺香奈氏に賞を贈りました。

(3) 会員の増強について

本年は次の結果となりました。(令和3年3月31日現在)

正会員	10名	年会費金額	1,200,000円	(前年比)	△240,000円
賛助会員	24名	〃	550,000円	(前年比)	△30,000円
計	34名	〃	1,740,000円	(前年比)	△270,000円
※賛助会員の内訳 1口=10名 3口=15名 計25名					

(4) 収益事業の実施はありませんでした。

令和3年度新任役員挨拶

会長就任に際して

福田 一良



この度会長に選出されました福田一良です。この重席に対してためらいもありましたが、会員各位の進言もあり、いささかなりともお役に立てることを願い、承ることといたしました。

現在のコロナ禍の中で、経済はもとより、芸術文化も危機的な状況にあります。

しかし、それだけに人間の生きる意味を

問い、感性を磨くことが欠かせないと実感しております。

微力ではありますが、このメセナ活動を通して、地域文化の振興に寄与したいと考えております。

お力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

(福田不動産会長)

専務理事就任に際して

野村 品司

地域社会での芸術文化支援を通して、社会貢献をする企業メセナ活動の運営に関わらせて頂きます。

よろしくお願いいたします。

(詩季画材会長)



福田会長を交えて執行理事会

常務理事就任に際して

黒岩 保弘

この度、メセナ活動の活性化を計るということで、定款に則り常務理事を配置することとなりました。

様々な課題が山積する今日ですが、メセナの理念に則り、より質の高い、そして円滑な運営を目指して努めて参りたいと考えております。

どうかよろしくお願いいたします。

(黒岩測量設計事務所会長)



理事会質疑の様子
ホテルサンダーソンの会議室を会場に、マスク、検温、手指の消毒、アクリル板の設置など、ウイルスへの対策を行い実施しました。



社員総会の後、令和2年度芸術文化奨励賞授賞式にて。



令和3年度第1回理事会の様子

常務理事就任に際して

添川 秀樹

コロナ禍による今日の地域における文化状況は、大変厳しいものがあります。とくに音楽や演劇などについては、迅速で十分な援助が必要です。

メセナ活動により、少しでも役に立てるよう努力して参りたいと考えております。

よろしく願いいたします。

(ステージサービス群馬会長)

理事就任に際して

中島 清明

先輩方のアドバイスを受けながら、地域文化振興のために努力して行きたいと考えております。

どうかよろしく願いいたします。

(ホンダカーズ前橋東会長)

監事就任に際して

岡野 訓也

監事に選任されました岡野訓也です。

公益法人としての運営が円滑に行われま
すよう努めて参りたいと考えております。

よろしく願いいたします。

(岡野機械代表取締役)

令和3年度 役員・事務局

代表理事 (会長) 福田 一良

代表理事 (理事長) 蟻川七郎次

専務理事 (執行理事) 野村 品司

常務理事 (執行理事) 黒岩 保弘

常務理事 (執行理事) 添川 秀樹

理 事 新井 聡

理 事 石川 靖

理 事 内山 充

理 事 塩谷 輝行

理 事 中島 清明

監 事 星野 大輔

監 事 岡野 訓也

顧 問 染谷 滋

事務局長 酒井 重良

事務局員 鈴木 克男

事務局員 和佐田幸子

「論語と算盤」 顧問就任挨拶に代えて



染谷 滋

渋沢栄一に『論語と算盤』という著作がある。功なり名を遂げた渋沢が、外国人から日本人の商売は信用できないと指摘され、あわてて出版した本だそうだ。『論語』によって人格を磨き、経済活動で国を豊かにしようと呼んでいる。今風に言えば企業倫理を説いたものでごくあたりまえの事だが、今読んでも訴えるものがある。

「文化と経済」というのも、全く違うものを結びつけたように耳に響くが、どちらも生活には必要なもので、ごくあたりまえの事だと思ふべきだ。日本という小国が世界の中で注目されたのは、その経済力だけからではない事は言うまでもない。日本文化

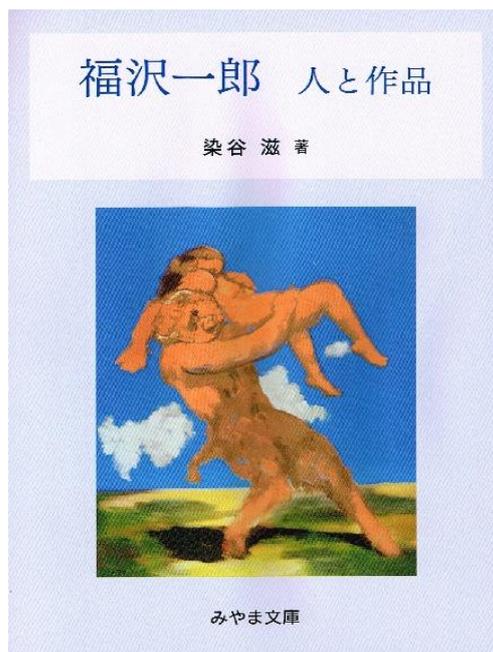
に対する称賛と尊敬の念が世界中に染み込んでいたからだ。広い意味での「文化」を忘れて算盤だけに走ったとき、「エコノミック・アニマル」という罵声が浴びせられたのを忘れてはいけない。

私は文化の中でも美術(アート)という狭い分野に関わってきた。昔風に数え年と言えば今年は「古希」に当たるのだが、顧問などという大役を仰せつかるにはまだまだ若輩者だと思っている。それでも文化的なアドバイザーなら幾らか果たせるだろうか。

(美術研究家

／前 群馬県立館林美術館館長)

著書紹介



「みやま文庫」第232巻
「福沢一郎 人と作品」
著者：染谷滋

シュールレアリズムの移入など、戦前から戦後に懸けて、日本画壇に大きな足跡を残した、富岡市出身の画家福沢一郎の生い立ちから晩年まで、年代を追って著述した労作。各時期を代表する作品を取り上げ、その作風やテーマなどについて、折々の時代状況とともに詳しく紹介する。美術史に於ける位置づけを通して、画家としての業績を再評価した画期的な評伝。

小林真二の再評価に向けて

染谷 滋

現在の日展の源流となる戦前の文展や帝展は、官展と総称され美術家の登竜門としてはそれなりに権威があった。入選さえすれば錦を飾って地元へ帰り、たちまち後援会が組織されてスポンサーが付き名士となったものだ。

小林真二は1909（明治42）年の第3回文展に弱冠19歳で入選を果たし、以来、官展の常連となる。以前、群馬県関係者の官展の出品歴を調べたことがあったが、1907（明治40）年から1944（昭和19）年までに37回開催された官展で、一番多く出品したのは南画の小室翠雲の33回。これに継ぐのが小林真二の21回だった。戦前の美術界のスターだった小室翠雲でさえも、現在必ずしも高い評価を与えられていないことを思えば、小林真二が忘れ去られている現状もやむを得ないのかもしれないが、私には理不尽なことのよう思えてならない。先人達の業績を顧みないことは、私たち自身の存在を未来に残さないことと同義だと思えるからだ。

赤城山大沼を舞台とした志賀直哉の『焚火』は、文学碑となって末代までも伝えられるのに、その小説に登場する「画家S」こと小林真二の名を忘れることは、群馬県人なら許されないだろう。大間々出身の小林真二は、赤城山をこよなく愛して「赤城絵かき」とまで呼ばれるほどだった。その赤城を描いた官展出品作が、1枚も見つかっていないことが忘れ去られた理由の一端だろう。

関東大震災で東京の居宅を失ったことも、古い作品が少ない理由かもしれないが、その後浦和に拠点を移し埼玉県美術振興に貢献した。震災後

浦和に移住した画家は多く、「鎌倉文士に浦和絵描き」とまで称された。埼玉県立近代美術館には小林真二の作品が9点所蔵されていることが確認できる。一方、出身地の群馬県立近代美術館には自画像が1点あるだけだ。38年前にその自画像の収蔵に関わった私としては、その後、小林真二の調査がほとんど進展していない責任の一端を感じている。

このほど、郷土作家の発掘と顕彰に身銭を切つて尽力するハラサワコレクションが、小林真二の展覧会を開催することは望外の喜びである。小品が多いとはいえ、25点もの作品を集めて、ある程度小林真二の画業が概観できる内容になっていることは素晴らしい成果だ。チラシにも使われている25号大の《赤城山大沼風景》は、作者の画風と力量を押し量ることのできる秀作で、現時点で作者の代表作のひとつに挙げられるだろう。遠くない将来、本展が小林真二再発見のターニングポイントとして語られることに違いない。

（美術研究家）



小林真二「赤城大沼風景」

※本稿は、2020年10月～11月4日まで、旧安田銀行担保倉庫で開催された「生誕130年 赤城絵かきの小林真二展」（ハラサワコレクション）のトークショー資料として執筆されたものを、諒解を得て転載させて頂きました。（編集部）

令和2年度 後援事業 調査訪問 報告

「生誕130年 赤城絵かきの小林真二展」

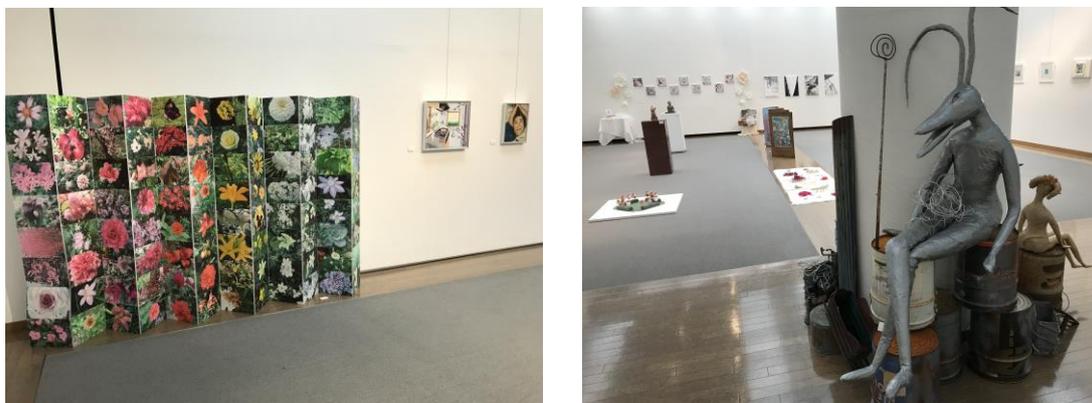
2020年10月28日～11月4日 旧安田銀行担保倉庫西側
赤城山を題材にした多くの絵を描き「赤城絵かき」といわれた小林真二の展覧会。
10月31日にはトークショウが開催され、事務局長も司会進行として参加しました。
会場には30名以上の来場者があり、元県立館林美術館館長の染谷滋氏(現在メセナ顧問)
やハラサワコレクション代表の原澤忠夫氏のトークに熱心に耳を傾けていました。



※小林真二の展覧会は、みどり市大間々街のコノドント館でも開催されました。
また、赤城山古民家 IRORI 場ゲストハウスでも、小林真二の作品を展示しました。
こうしたことをきっかけに、地域出身の芸術家が顕彰され、再評価されることを願いたい
ものです。(S)

「スカルプトゥーラXXIII ColorS!」

2020年11月20日～25日 高崎シティギャラリー第6展示室
9名のメンバーがそれぞれの個性を発揮して、バラエティに富んだ展覧会でした。
全体としては、豊かなイメージと明るい詩情を感じさせる作品が多かったように思われ
ました。(S)



催し物案内

2021第68回 第45回県民芸術祭参加 群馬美術家連盟展

連盟展

日本画・洋画・建築・ジュニア
(幼・小・中・高)

御招待

招待状ご持参の方にはパンフレット一部差し上げます

(令和3年)

6月23日(水)~6月28日(月)10:00am~6:00pm (開場日4:00まで)

入場無料

■会場 昌賀学園まえばしホール(前橋市民文化会館)大・小展示室
前橋市南町3-32-6 TEL.027-221-4321

■主催 群馬美術家連盟

■後援 群馬県・第45回県民芸術祭運営委員会・群馬県教育文化事業部・群馬県教育委員会・群馬県議会・企業メセナ群馬
前橋市・高崎市・桐生市・伊勢崎市・太田市・渋川市・前橋市教育委員会・前橋商工会議所・上毛新聞社・読売新聞
朝日新聞社・毎日新聞社・産経新聞社・東京新聞・群馬テレビ・マツダ絵具・ホルベイン絵具 (順不同)

群馬美術家連盟 | 事務局 〒379-2154 前橋市天川大島町2-22-9(藤又茂樹方) TEL.027-243-5006
ホームページ <http://www.artistgunma.com/>

歌&トーク
ジュニアリサイタル
田嶋陽子

Yoko Tajima

June Rental

2021 6.20 SUN 開演●13:00~
会場●ギャラリー 花の妖精

料金 7,000円(お食事・お飲み物付)

★新型コロナウイルス感染症対策のため
ご来場の際はマスクの着用をお願い
いたします
★各会場ともお座席になる場合がございます。
ご了承ください。

ピアノ 大美術彰代

Yoko Chiga Hanazuma

軽井沢花の妖精 TEL.0267-48-1273



miniature 田嶋陽子書アート小品展 同時開催

2021 6/13(日)~20(日)
時間●10:00~16:00

書アートの小せな作品を集めました
小品の中に置かれた
田嶋陽子の世界観をご覧ください。

軽井沢花の妖精
TEL.0267-48-1273
内線:090-1992-1248



Kumiko Mitsui
Concert du 20e anniversaire de Chanson

20周年
シャンソンコンサート
三井久味子

*Merci
Merci
Merci Beaucoup*

なんと言っても ありがとう

他出演
ベース 店網 邦雄
ピアノ ショーン 星野
シンセサイザー シンセサイザー
花井 研
ピアノ 高橋 律子

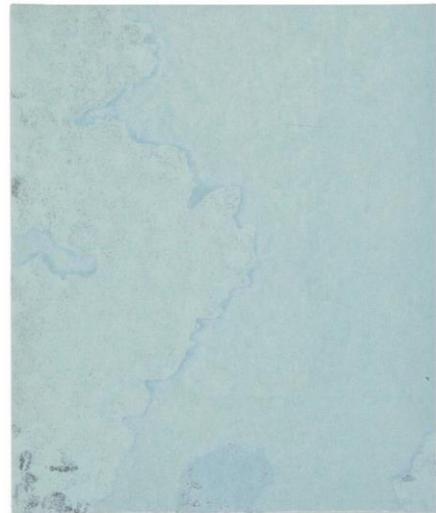
ゲスト ヴァイオリニスト 寺井 尚子

2021年 6月22日(火)
開演 18:00(開場 17:00)
高崎芸術劇場 スタジオシアター
高崎市栄町9-1 TEL.027-321-7300 入場料:3,000円

主催 Eternity Planning
事務局 エルティエリプランニング
〒990-3344-7336
TEL.090-3344-7336
後援:高崎市 上毛新聞社 群馬テレビ
ラジオ放送 ルヴァンハウスさくらたまち



第37回 ぐんま版画展



M. Kimura

37th Gunma Hanga Art Exhibition 2021

2021.6.25 fri.-6.30 wed.11:00~16:00

高崎シティギャラリー第1展示室

公益社団法人企業メセナ群馬

令和3年度 正会員

朝日印刷工業株式会社（石川 靖）
（有）共生システムアリソン（蟻川七郎次）
（株）群馬銀行（総合企画部）
群馬トヨペット株式会社（大山駿作）
群馬ヤクルト株式会社（塩谷輝行）
（株）詩季画材（野村品司）
（株）上毛新聞社（内山 充）
（株）ステージサービス群馬（添川秀樹）
（株）東和銀行（江原 洋）
永田会計事務所（永田智彦）
（株）福田不動産（福田一良）
（株）星野総合商事（星野大輔）
（株）ヤマト（新井孝雄）

令和3年度 賛助会員

阿久津眞一	（株）板垣労務管理事務所
学校法人有坂中央学園	新制配電株式会社
江田不動産	染谷 滋
（株）岡野機械	鈴木克男
金子めぐみ	関口俊雄
栗原レントゲン株式会社	竹内理絵
（株）黒岩測量設計事務所	（株）ちぎらホテル
黒岩千春	税理士法人テシマ会計
群馬三菱自動車販売（株）	（株）天国社中央
小泉電機株式会社	中村丙午
小島桂吾	野中志保
小林和義	林幸一
（有）コミュニケーション優美	船崎秀信
（株）コーワ	ホンダカーズ前橋東
酒井重良	峰岸祥子
三翠楼松し満	ユニオンシステム（株）
	和佐田幸子司法書士事務所

芸術文化支援を通して社会貢献を！
公益社団法人企業メセナ群馬への入会をお待ちしております。

公益社団法人企業メセナ群馬年会費の納入について

1：年会費の額	正会員（法人会員）	（1口）	120,000円
	賛助会員（個人会員）	（1口）	10,000円
	（企業会員）	（3口）	30,000円

2：納入方法

①下記銀行振込による方法（入会届提出時に振り込んでください。）

- ・群馬銀行前橋支店（普通預金）口座番号 1136282
シャ）キギョウメセナグンマ
- ・東和銀行本店営業部（普通預金）口座番号 257531
シャ）キギョウメセナグンマ
- ・しのめ信用金庫前橋営業部（普通預金）口座番号 1011692
シャ）キギョウメセナグンマ
- ・ぐんまみらい信用組合総社支店（普通預金）口座番号 1385748
シャ）キギョウメセナグンマ

②その他 事務局にご相談下さい。

企業メセナ群馬正会員・賛助会員入会申込書

公益社団法人企業メセナ群馬 御中

公益社団法人企業メセナ群馬の理念と事業に賛同し、下記の通り入会を申し込みます。

申し込み口数 正会員（年会費 12万円）
賛助会員 3口（年額 3万円）※3口は、企業名・法人名を表示します。
賛助会員 1口（年額 1万円）

※いずれかを○で囲んで下さい。

令和3年 月 日

〈申込者〉

所在地 〒

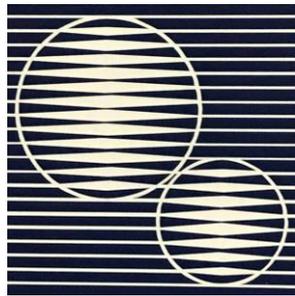
企業名・法人名

役職名

氏名

電話番号

FAX番号



毎日を豊かに生きる
芸術・文化活動を応援します

公益社団法人 企業メセナ群馬 会報「メセナ群馬」令和3年6月号（令和3年6月16日発行）

編集 （公社）企業メセナ群馬編集部 発行 公益社団法人 企業メセナ群馬

office〒371-0805 前橋市南町 4-47-6 詩季画材内 電話・FAX 027-289-0614